


# SDGs に繋がる、 1 年生生活科におけるルーブリック評価

神戸市立摩耶小学校 阪井 園子

児童数	394名	教員数	30名
<p>90年を越える歴史のある小学校。摩耶山の麓、河内国魂神社五毛天神を下った坂の途中に位置し、高台から海も見えるという、自然が身近に感じられる学校である。3代に渡って本校に通ったという家庭も多く、地域からとても愛されている学校である。PTA活動も盛んで、登下校の見守り隊を始め、さまざまな教育活動に協力して下さる地域の方々に見守られて、子どもたちは育まれている。家庭力が高く、地域との関わりが深いこともあって、礼儀正しく、きちんと言葉を遣うことのできる、落ち着いた児童が多い。</p>			

## ルーブリックについて

P3 - P6 参照 

メタ認知がまだ確立していない1年生にとって、ルーブリック 17項目のうちで可能な項目を選ぶことに苦慮した。今回の生活科「げんきにそだてわたしのはな」では、アサガオを一人一鉢で育てる活動を通して身に付けてほしい、4つの項目に絞った。また、小学校部会で一般化されたルーブリックの文言を、子供たちにとって分かりやすい文言に変えてルーブリック(ふりかえり)を作成した。「SABC」の評価に関しても、普段子供たちと共有している「スーパーはなまる」「はなまる」「まる」「さんかく」に変えた。更に、子供の思考の流れを考え、項目の順番は以下のようにした。

- ① 14 主体性＝「がんばったよ」
- ② 12 自己肯定感＝「できたよ」
- ③ 1 持続可能性に関する知識・理解・スキル習得＝「わかったよ」
- ④ 7 コミュニケーション能力＝「つたえたよ」

上記の4項目の他に、「おまけ」の項目として、植物栽培に対する意欲を問う項目を入れることで、植物に対する興味関心や、植物を育てることに意欲的かどうかを探ることができた。(子供たちが行ったルーブリックは表の左側欄外の項目を省いたものである。)



## 評価手法を適用した実践紹介

単元の最後「みつけたひみつをつたえよう」では、生活科ブック(スケッチブック)に5月から取り組んできた観察カードを順番に貼り、紙芝居のように説明や気付いたことを書いて発表できるようにした。

アサガオの栽培を終えた後、更に二つの取組を行った。一つ目は、蔓をリースのように丸くして12月まで保存し、クリスマスリースとして図工の時間に飾りつけをしたことである。二つ目として、来年度入学の新一年生用に、メッセージと共に種の一部をプレゼントできるようにした。

## 児童の変容

4月に入学してから2学期にかけての1年生の変容は著しい。5月から継続的に観察カードに気付いたことなどを書いてきた。当初は、絵が中心だったが、ひらがな・かたかな・漢字の学習を経て、2学期には、詳しく書くことができるようになってきた。クリアファイルに入れて、毎回掲示することで、友達と観察カードを見合うことができるようにした。また、その都度、数名のカードを全体の場で紹介していき、意見を交流したり、異なる視点を学んだりすることができるようにした。

最後、生活科ブック(スケッチブック)に、一粒の種から数か月かけて世話をし、成長したアサガオの様子、そして、最後にたくさんの種ができたことなどを、一連の流れとして紙芝居のようにまとめた。その中で、命の繋がりを感じることができた子供もいたようである。

また、来年度の新一年生に種をプレゼントしようという取組では、もうすぐ2年生になるという自覚の芽生えも感じられた。

## 実践を通しての考察、発見、感想

- このルーブリックは、アサガオの種の収穫が全て終わってから、10月に行った。

この時期には、読む力、考える力、振り返る力も随分ついてきているので、それぞれの項目を簡単に説明しただけで、ほぼ自分達の手で記入することができた。1年生は概して自己評価が高くなりやすいものだが、思ったよりも自分の姿をしっかりと見つめている様子がうかがえた。

- アサガオの種をまく5月初旬は、1年生にとってまだ文章を書くことが難しい時期である。

今回は実施できなかったが、種まきの前に、どのように成長すると思うのかを想像し絵に表しておいて、最後に実際と比べる活動も次回はしてみたいと考える。

### 問い合わせ先

学校名

氏名

電話番号

住所

メールアドレス

神戸市立摩耶小学校

阪井 園子

078-861-3172

兵庫県神戸市灘区畑原通4丁目1-1

son-sakai@sch.ed.city.kobe.jp

あさがおをそだてよう ふりかえり

10/

1ー (

)

	スーパ-はなまる	はなまる	まる	さんかく
①がんばったよ	まいにち「どうなるかな。」とわくわくしながら、すすんであさがおのせわをすることができた。	すすんであさがおのせわをすることができた。	いわれてからすることもあったが、あさがおのせわをした。	せわをしないことがあった。
②できたよ	すすんで、あさがおのせわをして、たくさんのおねをとることができました。	あさがおのせわをして、たねをとることができた。	あまりせわをしなかったが、たねとりはできた。	あまり、うまくそだてることができなかった。
③わかったよ	ひとつぶのたねが「は→はな→み」とせいちょうし、もとのたねとおなじ、たくさんのおねができてことがわかった。	ひとつぶのたねが「は→はな→み」とせいちょうし、たくさんのおねができてことがわかった。	ひとつぶのたねが、せいちょうし、たくさんのおねができてことがわかった。	ひとつぶのたねが、せいちょうし、たくさんのおねができてことがわかった。
④つたえたよ	きづいたことを、くわしく「かんざつカード」にかいたりしなしたりして、ともだちにつたえようとした。	きづいたことを「かんざつカード」にかいてともだちにつたえようとした。	きづいたことを「かんざつカード」にかいた。	きづいたことがあまりなくて、「かんざつカード」にすこしだけかいた。
おまけ	ほかにもしよくぶつをそだてている。	また、しよくぶつをそだてたいとつよくおもう。	しよくぶつをそだててもいい。	もう、しよくぶつをそだてたいとはおもわない。

主体性

自己肯定感

知識スキル

コミュニケーション

単元名

# げんきに そだて わたしの はな

教科書 上巻 p.20 ～ 33

単元の配当時間 10時間 ※のちの※の時数 1時間

単元の目標

植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所や変化の様子に関心をもち、植物も自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに、親しみをもち、楽しむことができるようにする。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて変更して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準 (B基準：おおむね満足できる)		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, ★=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
<b>どのはなをそだてたいかな？ (1時間)</b> これまでの経験や友達の話から、自分の育てたい花を決めることができるようにする。	知・技	複数の植物の種を比較して、植物によって種の形や大きさ、色に違いがあることに気付いている。	p22-23		・休校期間中に、春植えの花（あさがお、ひまわりなど）の栽培活動を家庭などで行った場合は、そのよすを伝えたい、本時と次時を合わせて1時間扱いとすることが考えられる。	○たねまきを行っていない場合は、優先的に行う。  ●活動後に手洗い・うがいをを行う。  ★教科書p.21QR「あさがおのたねのまきかた」、 「ほうせんかのたねのまきかた」、 「むしめがねのつかいかた」
	思・判・表	楽しく植物を育てる様子を思い描きながら、自分が育てたい植物を選んだり、決めたりしている。	① これまでの栽培経験を話す。 ② 育てたい花を決める。 ③ 種を観察して絵や文章、言葉などで表現する。	0		
	主 体	自分が育てたい植物について関心をもち、思いや願いをもつて関わろうとしている。				
<b>たねをまこう (1時間)</b> 自分が育てたい花が、元気に育つように願いながら、花の種をまくことができるようにする。	知・技	自分が育てる植物の種の特徴に気付いている。	p24-25		●活動後に手洗い・うがいをを行う。  ★教科書p.21QR「あさがおのたねのまきかた」、 「ほうせんかのたねのまきかた」、 「むしめがねのつかいかた」	
	思・判・表	種のおおきさを考えて、まく場所や数を工夫して、種まきをしている。	① 種のおおき方を確認する。 ② 土を準備する。 ③ 種をまく。	0		
	主 体	自分が育てる植物について、発芽や成長を楽しみにしながら、種まきをしようとしている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準 (B基準: おおむね満足できる)		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, ★=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
<p><b>せわをしよう (1時間)</b> 自分が育てている植物について成長の様子や変化に関心をもち、成長に応じた観察や世話をすることができるようになる。</p>	<p>知・技 育てている植物の成長する様子や変化に気付き、成長に合った世話の仕方があることに気付いている。</p>	<p>思・判・表 植物の変化や成長の様子を意識しながら、世話の仕方を工夫したり、観察したりしている。</p>	<p>p.26-27 ① 芽が出てきた時に観察し、動作で表現したり記録したりする。 ② 成長の様子を観察カードに絵や文章で記録したり、言葉や動作で表現したりする。 ③ 世話を生じて生じた問題について話し合う。</p>	<p>0</p>		<p>●活動後に手洗い・うがいを行う。 ★教科書p.22QR「むしめがねのつかいかた」</p>
<p><b>じっくりみよう (2時間)</b> 自分が育てている植物を観察し、成長にもなう変化に気付き、気付いたことを表現したり成長の仕方について考えたりできるようにする。</p>	<p>知・技 育てている植物の葉や花、育ち方の特徴に気付いている。</p>	<p>思・判・表 育てている植物の変化や成長の様子を調べたり、変化の様子を想像したりしながら、関わっている。</p>	<p>p.28-29 ① 成長の様子を観察し、見つけた秘密を記録する。 ② 咲いた花の数や様子を記録し、更に栽培意欲を高める。</p>	<p>0</p>		<p>●活動後に手洗い・うがいを行う。 ★教科書p.23QR「むしめがねのつかいかた」</p>

(1:ここまで1学期 5時間 ※のうち※の時数 0時間)

小単元名と小単元の目標	評価規準 (B基準：おおむね満足できる)		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, ★=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
(1)ここから2学期 5時間 (そのうち※の時数 1時間)						
<p><b>たねを とろう (1時間)</b></p> <p>種のできる様子に関心をもって観察し、植物にも命があることに気付くことができる。</p>	知・技	<p>実の中にある種の形や大きさがまた種と同じであることに気づき、植物にも命があることに気付いている。</p>	<p>p.30-31</p> <p>① 種ができる様子を観察し、記録する。 ② 種採りをする。 ③ 種の数を数えたり、種の様子を観察したりしながら気付いたことを伝え合う。</p>	0		<p>●活動後に手洗い・うがいを行う。</p> <p>★教科書p.24QR「むしめがねのつかいかた」</p>
	思・判・表	<p>熟している種と熟していない種を比べたり、特徴を確かめたりしながら、種採りをする。</p>				
	主 体	<p>種のできる様子に関心もち、たくさん採りたいという思いや願いをもつて種採りを継続的にしようとしている。</p>				
<p><b>みつけた ひみつをつたえよう (4時間)</b></p> <p>栽培活動を振り返り、作品に表したり、友達と交流したりするを通して、植物が生命をもっていきなり命が分かれ、命を大切にしながら世話をすることができるようになる。自分の成長にも気付くことができる。</p>	知・技	<p>植物への親しみが増し、上手に世話ができるようになった自分自身の成長に気付いている。</p>				
	思・判・表	<p>育ててきた植物と自分との関わりを振り返り、感じたことや考えたこと、分かったことなどを自分なりの方法で表現している。</p>	<p>p.32-33</p> <p>① これまでの栽培の様子を振り返る。 ② 活動を通して気付いたことなどを振り返る。(ペアで伝え合う場を設定する。) ③ 家の人にも伝える。</p>	1	<p>・かきためてきたカードなどを見ながら、伝えたいことを考える。(0.5時間) ・家の人に、活動を通して気付いたことを話す。(0.5時間)</p>	<p>●ペアでの伝え合いは、可能になった時点で取り上げる。</p>
	主 体	<p>自分が育てた植物の成長の様子を振り返り、友達や先生、家の人などに伝えようとしている。</p>				